

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170401806), 法人名 ((株)風和里), 事業所名 (グループホーム ふわり新発寒 1階), 所在地 (札幌市手稲区新発寒6条5丁目4-3), 自己評価作成日 (令和3年11月30日), 評価結果市町村受理日 (令和4年1月4日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症であっても今までの暮らしの延長として地域の中で今できる事を活かして生活の中に役割を持ち今までと変わらない雰囲気生活が継続される様に心がけている。スタッフ間で意見交換がしやすくそれぞれの得意な事を活かし資格取得や研修を受けやすいようにしている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0170401806-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和3年12月22日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所はバス停から近く、周辺は桜並木やキツネ、カモ、様々な野鳥が棲みついている川や遊歩道があり、また、小公園、医療機関、郵便局、商業施設も点在する住宅街に位置している。地域交流が中断している中でも、幼稚園児の秋をモチーフにした作品が届けられ、地域住民による畑作業の協力がある。職員も廃品回収や清掃活動に協力するなど、出来る範囲での交流が行われている。家族との面会も、感染症予防対策を万全にし、玄関先で行われており、利用者が不穏にならない要因の一つとなっている。利用者は、自然とリビングに集まり、食卓やソファで寛いだり、手摺りの消毒、洗面所の掃除、窓拭き、洗濯物たたみ、居室や廊下のモップかけ、野菜切りや食器洗い等を積極的に担っている。脳トレーニング後のドリルに全員花まるを付けて壁に掲示し、利用者の活性化に繋げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関やスタッフルームなど目に触れる所に掲げて共有し、入居者様のケアプランにも取り入れ実践している	理念は事業所内の要所に掲示し、さらに業務日誌にも記載して意識付けを図り、実践に努めている。理念の一節にある「共に笑顔に」を念頭に介護計画書を策定している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	感染対策の為、昨年同様町内会行事も中止になりホーム行事も中止または縮小したため交流はご挨拶程度になっている	地域との交流は自粛しているが、利用者と一緒に隣家に回覧板を届けたり、町内会主催の廃品回収の協力や清掃日は、職員のみが参加している。地域住民による畑作業は、今年も協力を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所の公園にお散歩、ごみ捨てやお買い物、町内の行事に参加している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染対策の為、文書会議にし報告書をお送りしてご意見をお聞きしていた	職員だけの書面会議とし、利用者や職員の状況、身体拘束適正化について、コロナ禍に伴う報告等を記載した議事録を運営推進会議のメンバーに送付している。要望や意見の聞き取りに努め、疑問点などに応じている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	本社統括会議や管理者が行っている	行政とは、本社部長と管理者が分担して各担当者と関わっている。事故報告や地域防災計画のチェックリスト等の提出を通し、相互の情報を共有している。コロナ禍関連の指導や防災への助言等を運営に生かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	チェックリストを活用し研修を行っている。繰り返し事例などを活用し振り返りを行っている	身体拘束廃止に向けて、指針の整備、定期的な適正化委員会の開催、法人研修後に全職員に研修報告の提出、都度の内部研修や2ヶ月ごとの自己チェック等で周知徹底を図っている。グレーゾーンを重要視し、職員間でも注意を促している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	係や委員会をつくり、勉強会を行い常に意識付けをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や資料を元に職員全体のスキルアップ向上ができる様に支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	質問や疑問をいつでもお聞きして頂けるようにお話しして対応している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様から要望やご意見を提供できるような関係性も密に持ち反映している	家族とは常に電話で報告や相談をする中で意見を把握している。写真掲載の事業所便りと、個別に写真や近況等を記載して送付した後に、電話で質問があり、応じている。利用者からは運営上の意見は出ていない状況にある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のユニット会議では職員同士で意見を出し合ったり反映させる等より良い環境作りを心掛けている	管理者やリーダー始め職員間においても率直に意見交換が行われている。職員は、利用者の居室担当と各業務を係として担っている。レクなど企画書についても全職員で検討するなど、事業所全体の質向上に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2度個人面談、全体会議を行い環境整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の悩みや意見が言える関係性を保ち研修や勉強会でスキルアップできる様にしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染対策の為、交流は中止になっていた。現在は月に1度勉強会を一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人とコミュニケーションを取りながら情報収集するよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が安心して頂ける様に関わる機会を多く持つよう心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の思いやご本人の状況等見ながら求めている支援ができる様務めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が自宅にいるかのように安心して穏やかに過ごせる様務めている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護者だけではなくご本人にとって何が一番必要なのか考え支援するように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話や昔話、写真などで振りかえられる様に一緒に会話できる様務めている	感染症予防対策の上、家族は数分の面会ができ、利用者も安心感を得ている。看取り時も同様に家族来訪を受け入れている。家族にはラインで利用者の動画を送信したり、家族からの電話を取り次ぐなど関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクやお手伝いなど皆で一緒にできるときは一緒にして頂き常に関わり合いができるような支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ハガキのやり取りやウエス、古新聞を提供して下さる。交流の継続を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意思を尊重し検討をしている	入浴時での会話や昔話を聴く中で利用者の意向を把握でき、ケアプランに反映している。日常的に利用者との会話を多くし、家族の協力を得ながら出来る限り思いに応じられるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から情報を頂き趣味や健康状態を把握してご本人の意向に添った生活ができるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床から始まり排泄、食事、発言内容や健康状態をこまめに聞き取り職員間で共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで出た情報や反省を常に念頭にご本人に適したサービスをご家族含め話し合い作成している	ケアプラン見直し時は、関わりから得た利用者や家族の要望を尊重して作成している。毎日モニタリングを行い、課題等を話し合った結果や介護記録、医療従事者の意見を含め、具体的な支援内容を会議で協議している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を残しスタッフ間で情報を共有し全員が周知して対応できるように努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族やご本人のニーズに添った計画を作成し満足していただけるサービスに努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染対策の為、地域交流はままならないが今できる範囲内で安全で豊かに楽しい生活が送れるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族と病院、薬局、ホームが情報を共有し適切な医療を受けられる様に支援し外部へ通院も希望により受けて頂いている	利用者の殆どが協力医による訪問診療を利用している。週2回、歯科医の往診を受けている利用者もいる。専門医等の外来受診は家族や管理者が同行し、情報は関係者と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間体制で看護師に連絡、相談ができ医師の指示を頂き適切な医療が受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	相談員と連絡を取りながら情報交換をして安心して治療を受けていただける様に支援している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人が日頃から言っていた希望やご家族の希望などを確認を繰り返し話し合いをし共有して取り組んでいる。	今年度、初めての看取りケアを経験している。マニュアルや研修で学びを得た職員は、利用者の意向に応えた最終ケアプランを策定し、実践に努めている。関係者とは段階的に話し合い、記録に残している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	多様な場合を考えたり想定しシュミレーションをしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に避難や待機の場合など消防から指導を頂き自主訓練を含め行動できるように備え協力をお願いしている	年2回の昼夜想定火災避難訓練以外に地震や水害、夜間暴風想定訓練を実施している。入浴時などケア場面での対処法も行っており、常に災害を意識した行動に努めている。非常時は、住民や職員家族の協力が得られる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一括りや決めつけしない様に一人一人に合わせ対応をしている	トイレ誘導時は直接的な言葉は避け、入浴時は同性介助の要望に応じている。個人別の記録時は人目に触れない、申し送りはイニシャルを使う、不適切な言葉は職員間で注意し合うなど、研修での学びをケアに活かしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができる様なケアプランや工夫し声掛けしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調や表情を見ながら希望をくみ取れる様務めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	現在入居されている方は全員女性なので洋服に興味がある方もおり、おしゃれができるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器洗いなどを一緒に行って頂き食事量等もご希望に添う様になっている	献立と食材は外注だが、代替食の用意もある。畑で採れたズッキーニやナス、トマトなどを活用しながら職員は味付けで、利用者は下準備で力量を発揮している。月1回、昼食には利用者の好みを聞いてお弁当を作り、誕生日は要望の赤飯等でお祝いをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量を把握し足りない方には都度声掛けし摂取を促している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、歯科医や衛生士と連携し支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄状況をトイレ板でスタッフ間で共有し時間に応じて誘導している	利用者自身でトイレで用を済ます、職員の見守りや誘導でトイレに向かうなど色々だが、尊厳に配慮した対応に努めている。日中と夜間帯は衛生用品の種類を変えるなど、利用者の負担感や失敗の軽減に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や腹部マッサージ、テニスボールでご自分でマッサージし個人個人の便秘薬を使用したり牛乳を提供し対応している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴準備から職員と一緒にいき体調確認をしご本人のご希望に添える様支援している	浴室は、3方向の湯船になっており複数介助でも支援しやすい。週2回～3回の入浴支援で、利用者が洗えないところを支援している。面白い言葉を記載した紙面を濡れないように壁に貼っている。入浴時は会話がが多く、情報が得られる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の意思を尊重し検討をしているペースで休息して頂ける様お任せし支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師と情報を共有し職員全体でできる様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のお手伝いやレクリエーションなど日常的なものからお祝い事行事など楽しんで生活できる様支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の行事など昨年同様中止が多かった。ホーム周辺や外気浴など支援していた	コロナ禍により外出も控えているが、感染症予防対策の上、隣家に回覧板を届けたり、畑の野菜に水遣りや収穫などで外気に触れている。外来受診では、家族と会える機会にもなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を持っている方もいるので、年賀状や必要なものを購入するなど支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ハガキのやり取りやお電話でやり取りできる様支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が少しでも実感できる様に飾りつけなど工夫し手作りのカレンダーを毎日交換して頂いている。	床暖房によって一定の温度が保たれ、乾燥対策として洗濯物を干したり加湿器で調整している。陽射しが入るリビングでは、常に利用者が自分の居場所で寛いでいる。利用者の作品である塗り絵や習字、脳トレ後のドリルを掲示し、クリスマスツリーは皆で飾り付けを行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	視線を気にする事なくそれぞれの居場所でくつろげる様支援している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族で家具の配置や飾りなどで自分のスペースとして居心地良く過ごして頂ける様工夫をしている	居室入り口には、表札とレクの作品が飾られている。クローゼット、棚付きのテレビ置き台、ベッド、カーテンが設置されている。時計や仏壇、テレビ、タンス、写真等が持ち込まれ、自宅の延長線としての生活空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1日1日ご本人の様子に合わせて変わらず安心して生活が送れる様工夫している		